

みのり幼稚園 令和7年度 自己評価結果

【評価方法】

普段の保育を振り返りながら次の各項目について保育教諭自身が4段階で自己評価した。

(4できている 3ほぼできている 2あまりできていない 1ほとんどできていない)

【施設評価】

全保育教諭の個人評価の合計の平均を施設評価とする。

高・・・(3.5以上) 中・・・(2.7~3.4) 低・・・(2.6以下)

○保育環境・特別支援

施設評価

1	登園時、園児一人一人を明るい挨拶でむかえ健康状態について充分把握している。	3.5	高
2	園児の家庭環境や生育歴、発育の状態について把握している。	3.4	中
3	園児の話に耳を傾けるようにしている。	3.5	高
4	園児のありのままの姿を受け入れるようにしている。	3.6	高
5	園児の人権を無視したような言葉や態度をしないよう心がけている。	3.8	高
6	園児を褒めたり励ましたりして園児自身が前向きになれるような言葉かけをしている。	3.6	高
7	園児の特性に配慮しながら保育活動をするを心がけている。	3.6	高
8	園児同士の関係にも配慮しながら保育活動を行っている。	3.6	高
9	園児が安全に遊びを深められるよう場の工夫をしている。	3.4	中
10	保育者自身が余裕をもって保育活動が進められるよう心がけている。	3.4	中
11	気分によって園児への対応が変わらないようにしている。	3.7	高

○家庭との連携

1	園児の日常の様子や気になることについて保護者に直接伝えたり電話、コドモンなどを使って定期的に伝えたりしている。	3.5	高
2	保護者の悩みや心配事を安心して話せるよう心がけ対応している。	3.6	高
3	保護者へ丁寧な言葉使いや挨拶等の正しい基本行動を心がけている。	3.7	高
4	保護者からの依頼や伝言については記録を残し適切に対応している。また必要であれば関係職員・関係機関と連携する体制を整えている。	3.8	高

○職員連携・資質向上

1	園児に関わる先生方(のびのび・フリー・加配・給食・安全管理・事務)と連携しながら保育活動をすすめている。	3.5	高
2	職場環境の改善のために見通しをもった話し合いや連携がとれている。	3.4	中
3	保育者として専門知識の向上のための研修や自己課題をもって日々研鑽している。	3.4	中
4	子ども達の遊び・学び・日々の活動への関心が高められるよう環境設定の意義や意味を理解するよう努めている。	3.5	高